

2016年度 事業報告

【事業委員会】

1. オフィシャルスポンサー・各大会協賛スポンサーの募集活動を行いました。
2. 第34回全日本級別サーフィン選手権大会(2016)を開催しました。
開催場所：静岡県磐田市豊浜海岸
開催日：2016年5月20日(金)～22日(日)
3. 第24回ジュニアオープンサーフィン選手権大会(2016)第13回マスターズオープンサーフィン選手権大会(2016)を開催しました。
開催場所：千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸(志田下)
開催日：2016年6月17日(金)～19日(日)
4. 第51回全日本サーフィン選手権大会(2016)を開催しました。
開催場所：愛知県田原市赤羽根町大石海岸 その他
開催日：2016年8月23日(火)～28日(日) 予備日29日(月)
※トライアル及び開会式は前日23日(火)
5. 10th ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2016を開催しました。
開催場所：静岡県下田市白浜海岸
開催日：2016年10月29日(土)～30日(日)
6. NSAサーファーズ ビーチクリーンACT 2016(全国一斉ビーチクリーン)を実施しました。
日時 2016年9月4日(日)又は11日(日)
場所 全国の海岸 120ヶ所以上
7. 2016 ISA World Surfing Games(派遣大会)に日本代表チームを派遣しました。
期間 2016年8月6日(土)～14日(日)
場所 コスタリカ・ハコ
8. 2016 ISA World Junior Surfing Championship(派遣大会)に日本代表チームを派遣しました。
期間 2016年9月17日(土)～25日(日)
場所 ポルトガル・アゾレス諸島
9. 2016 ISA World StandUP Paddle and Paddleboard Championship(派遣大会)に日本代表チームを派遣しました。
期間 2016年11月12日(土)～11月20日(日)
場所 フィジー
10. 2016 Stance ISA World Adaptive Surfing Championship(派遣大会)に日本代表チームを派遣しました。
期間 2016年12月8日(木)～12月11日(日)
場所 カリフォルニア州・ラホヤ
11. 2016年に開催する他の国際大会は、日時が決定次第参加または不参加を判断しました。
12. 主催大会・派遣大会の結果をオフィシャルスポンサーに報告しました。
派遣大会では日本代表チームにユニフォーム、Tシャツ、ポロシャツ、帽子等を支給し

ました。

13. 大会役員、関係者、公認ジャッジにスタッフアウターを販売しました。
14. 第 51 回全日本サーフィン選手権大会にて、ライブ中継を広報委員会と合同で行いました。

【広報委員会】

1. 2017 年度会員募集と主催大会スケジュール発表の「サーフィンレビュー」を圧着形式で、2016 年 10 月に全会員へ郵送しました。
2. 「YEARBOOK」を 2016 年 4 月下旬に全会員と公認ジャッジ、公認指導員、協力店、支部長へ郵送しました。
3. サーフィン専門誌の「NSA ニュース」欄等を利用し、NSA の活動を一般に広く知らせる記事を掲載しました。
4. 全日本・全日本級別選手権大会・ジュニアマスターズオープン・ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 等の大会プログラムと大会ポスター（地域等限定）を作成し配布しました。
5. NSA オフィシャルサイトと SNS (Facebook 等) の連動を図り、最新情報を配信しました。
6. NSA オフィシャルサイトに主催大会結果、写真等をアップしました。
7. 「ルール&マナーブック」を無料配布しました。
8. 「ルール&マナーブック」を主催大会、公認大会で無料配布しました。
9. 協力店等にケガ防止、ビーチクリーンのポスターを無料配布しました。
10. 春のインタースタイルにブースを出展しました。
11. 第 51 回全日本サーフィン選手権大会にて、ライブ中継行いました。

【ジャッジ委員会】

1. サーフィン検定の開催スケジュールについて管理、調整を行いました。
 - ①検定基準の統一を目的に必要なに応じてマスタージャッジの派遣手配を行いました。
 - ②検定を通して開催地域の A 級ジャッジからマスタージャッジを採用するなど、地域のジャッジ活動を促進しました。
 - ③2016 年度サーフィン検定開催結果
実 施 20 会場
受験者数 4060 名 合格者数 1169 名
(参考：2015 年度実績 実施 17 会場 受験者数 3250 名 合格者数 885 名)
2. 春季公認ジャッジ講習会（試験なし）を開催しました。

（日程、開催地）

 - ・2016 年 2 月 21 日（日）大阪会場
 - ・2016 年 3 月 20 日（日）東京会場
3. 秋季公認ジャッジ講習会、ジャッジ資格試験を実施しました。

日 程 … 2016 年 11 月 27 日（日）

会 場 … 札幌 / 仙台 / 東京 / 愛知 / 大阪 / 福岡 / 沖縄
4. 公認ジャッジの認定・昇格を審査しました。
5. 公認大会にジャッジ派遣の要請があった場合、派遣を行いました。

6. 主催大会の専任ジャッジを選出しました。
7. 国際大会に準じて改定した競技ルールを施行しました。
8. 支部主催で公認したジャッジ講習会へ講師の派遣を行いました。
9. 主催大会においてジャッジシステム導入を行いました。

【地域活動委員会】

1. 海上保安庁、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会・(一社)ウォーターリスクマネジメント協会の事業と連携して公認指導員制度の普及・促進を図る為に、講習会を実施し、全国に指導員を配置しました。
2. 公認指導員制度の改定と充実を図りました。
3. 公認指導員講習会を実施しました。
日程 : 2016年2月28日(日)
会場 : 名古屋市 さかえビル 受験者数 18名
4. 公認指導員講習会について支部または、地域からの講習会開催要請に対応しました。
5. 各地域における情報伝達、意見交換の場として、支部長意見交換会等を実施しました。
6. 全日本サーフィン選手権の開催時に支部長会議を開催しました。
7. NSA公認サーフィンスクールを3ヶ所で行いました。
8. 公的サーフィンスクール(市、教育委員会など)にテキスト、保険提供などを支援しました。
9. サーフィン専門誌及びNSA オフィシャルサイトなどを活用し、公認指導員の公認スクール開催のバックアップ及びスクールの拡充を図りました。

【総務委員会】

1. 正会員及びオープン会員の募集及び登録業務を行いました。
2. 正会員及びオープン会員の更新案内を個人へ発送しました。
3. 正会員及びオープン会員の会員証を個人へ発送しました。
4. 2016年度正会員登録状況を、支部長や各チーム代表者がインターネットで確認できるシステムの運用を行いました。
5. 10月に次年度正会員用登録用紙を各チーム代表者に発送しました。
6. 総会、理事会及び定例会議等の会議を開催し、報告書を作成しました。
7. 会員に対する保険等の対応を行いました。
8. 議案等を作成し、各会議へ提案しました。
9. 事務局の就業規則を適正に管理し、事務局業務の円滑化及び効率化を図りました。
10. 個人情報の適正な管理を行いました。
11. 独立行政法人日本スポーツ振興助成センターにスポーツ振興くじ、スポーツ振興基金、開催地の関係機関等に助成申請を行いました。
12. 大会の開催に関し、スポーツ庁及び海上保安庁等に後援申請を行いました。
13. 他業種との連携を図り、連盟の活性化を検討しました。
14. 全日本サーフィン選手権で参加選手を対象に簡易薬物検査を実施しました。
15. 社会貢献活動として、NSA サーファーズビーチクリーン ACT 2016 (全国一斉ビーチクリー

- ン)を実施し、事前に ACT フラッグ、ポールを配布しました。
16. UMI 協議会のボートショー(2016)に年 3 回参加し、サーフィンの楽しさを一般の方々に情報発信しました。
 17. 各種助成団体の調査及び加盟を図りました。
 18. NSA ネットショップを設け、NSA 関連商品を販売しました。
 19. 公益財団法人日本オリンピック委員会へ正加盟し、各種会議へ出席しました。
 20. 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構へ加盟を進めました。
 21. 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構の仲裁制度を活用可能としました。
 22. 公益財団法人日本体育協会への加盟を検討しました。
 23. 連盟及びナショナルチームの代理店を決定し、事業委託をしました。

【企画専門委員会】

1. 10th ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2016 を国際大会の派遣年齢基準に合わせて実施しました。
2. 主催大会の構成や効率化を検討しました。
3. ポイントランキング制度を改定し、国際派遣選手及びシード選手の選考に活用しました。
4. 全日本サーフィン選手権大会でメンクラス 1 位の選手を世界選手権大会に派遣しました。(補欠繰上げなし)
5. 公認大会の改定及び管理を行いました。
6. 公認大会のエントリー及びその他詳細について NSA オフィシャルサイトに掲載しました。
7. 公認大会支援事業として、エリアフラッグ、タイムフラッグ、ゼッケン等を貸与しました。
8. 主催大会の公認スクールを実施しました。

【国際専門委員会】

1. 派遣大会地域の国及び現地情報を把握し、告知しました。
2. 強化合宿を行い世界レベルの選手の育成を検討しました。
3. 世界レベルのジャッジの育成を検討しました。
4. 世界レベルのコーチの育成を検討しました。
5. 国際大会派遣選手の選考及び派遣役員の選出を検討しました。
6. 国際大会の事前交渉等の円滑化を図りました。
7. ISA コーチング講習会を実施しました。
日程 : 2017 年 3 月 3 日 (金)、4 日 (土)
会場 : 貸教室・貸会議室 内海 受講者数 12 名
8. ISA 大会にて優秀な成績を収めた強化指定選手(プロアマ問わず)に報奨金を支払いました。
9. ジュニア以下の強化指定選手を対象に強化合宿を行ないました。
10. 強化指定選手には、国際大会の選手参加費軽減、主催大会の参加費免除、強化合宿費のサポートなどを実施しました。